

Pitting Edema Simulator

浮腫触診モデル

MW 1 11380-000 ￥お問い合わせください

監修・指導：北海道大学大学院 医学研究科 医学教育推進センター 教授 大滝 純司

下腿部に装着し、段階的な浮腫の症状を触診実習



特長

- 正常な皮膚と程度の異なる浮腫のある皮膚（4段階）を再現しています。
- 4段階の浮腫は「Mosby's Guide to Physical Examination (7th ed.）」に基づいて再現しています。
- 押さえた感触や圧痕のもどり具合は、浮腫のある皮膚に近い状態を示す素材で再現しています。
- 実際に何度も触診しながら、浮腫の程度とその感触を確認することができます。
- SP（模擬患者）や全身モデルに装着することで実習の幅が広がります。

実習項目

重症度の異なる圧痕性浮腫の触診検査のトレーニング

● 浮腫の程度と圧痕

正常



圧痕を認めない

+



わずかに圧痕を認める
（圧痕の深さ 2 mm）

2+



明らかに圧痕を認める
（圧痕の深さ 4 mm）

3+



静脈や骨、関節の突起部が
不明瞭になる程度の浮腫
（圧痕の深さ 6 mm）

4+



見てすぐわかる高度な浮腫
（圧痕の深さ 8 mm）

実習の手順

- 正常な状態の皮膚と4段階の浮腫モデルを順に下腿部に装着し、脛骨の前面（脛骨粗面）の皮膚を視診、触診しながら、実際の患者さんへ行うのと同様にトレーニングします。
- 脛骨部位を第2～4指で約10秒圧迫し、圧迫を解除して、指でさわって圧痕の状況を確認します。

SP（模擬患者）や全身モデルに装着することで実習の幅が広がります。



● 仕様

本体：装着式モデル
 大きさ：約W10×D23cm
 材質：軟質特殊樹脂

● 構成

装着式浮腫モデル本体……………5種
 取扱説明書

- 製品は絶えず改良を続けておりますので、仕様・外観など予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。
- このパンフレットに掲載の文章・情報・写真等については、許可なく無断転載・転用・コピーなどは固くお断りいたします。

取扱店

製造元



株式会社 京都科学

URL <http://www.kyotokagaku.com>
 e-mail rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

京都本社・工場
 〒612-8388 京都市伏見区北寝小屋町15番地
 TEL.075-605-2510（直通）FAX.075-605-2519

東京支店
 〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目26番6号
 NREG本郷三丁目ビル 2階
 TEL.03-3817-8071（直通）FAX.03-3817-8075